Fate / stay night

RIN TOHSAKA

アルストロメリア

ALSTROMERIA

YAKAN HIKOU 2004

シロウ――――― 貴方を、愛している

失した羽を探し続けても
もう　何処にもないんだよ
あなたが時間を止めてしまっても
ねえ　星は動いてる
言葉も祈りも風船も花束も届かない

千の夜と千の昼を超えて
溢れる光の銀河を渡る夢
草木に埋もれて忘れ去られた
崩れた塔の上で何を見てる

あなたに笑って欲しくて
ほら　色んなものを用意したよ
あの空に返そうと想って
ねえ　色んな事を考えた

森の向こうの森に　海の向こうの海に
出かけては集めて　集めては祈って
祈って　飾って　探して　願いを掛けて

私が最後に贈った物は
海の青を混ぜた銀の傘
右手に傘をさしたあなたは
風を受けて今舞い上がる
千の夜と千の昼を超えて
溢れる光の銀河を渡って行く

千の夜と千の昼を超えて…

千の夜と千の昼 / 元ちとせ　　作詞　上田現

だから

どうしてそこで
士郎がでてくるのよ

ふーん

士郎ーーね

ニヤリ

やっぱりそういう
関係なんだ

あのね…
わたし達は勝負の
話をしているのよ
美緒さん

そうよー
遠坂さん！

だったら

し……衛宮くんは
関係ないでしょ

あーー、
とぼけるつもり？

もう学園中の
ウワサになってるじゃない

穂群原学園のアイドル
あの遠坂凛に彼氏が
できたって

初耳ね

そしてその相手がっ！

みんなが驚く
生徒会の雑用係

衛宮士郎

ことっ

そ…そんなウワサ
本当に知らないわ

ふうん

衛宮くんとはまだ
そんな関係じゃないわよ

ふーん
まだそんな関係でもないのに
衛宮はあんな目に遇ってるワケね…
え…
あんな目…？
んー
学園中の男どもからの妬み嫉み
まあこの辺は実害が無いからいいんだけど
ただ生徒会長が…ねー
生徒会長？
衛宮ああっ
悪いコトは言わんあの女狐と縁を切れっ!!
お前は惑わされているんだ!
かっ…一成何を…
喝
霊験あらたかな御札をやろう!
なんなら全身に経を書いてやろう耳にも忘れずになっ!
ぐわっ
ぴくっ
がくっ

——
てな事いでね——

ほぼ毎日よ

ぷる
ぷる

あっ…

ど…
どう…て…

春休み前から
街宮とコソコソ
会ってさ

休みが明けたら
毎日のように2人で
登校でしょ

あたしとしても
イロイロと想像しちゃう
ワケなのよ

本当のところ
どうなのよ

ど

長年想い続けた相手と
ひょんな事から今大接近
反発しあいながら
幾多もの障害を乗り
越え残り10分で遂には
夕日をバックに2人……

ん――～

何なのその
陳腐な例えは

藤村先生風に
言ってみただけよ

でっ
そんなコトでも
あった？

けど？

…

まあ…
少しは当たってる
けど…

ぎゅ

とにかく！

わたしと衛宮くんは
貴女の想像してるような
関係じゃないわよ！

ふーん

そうかあ…

それよりも
綾子こそ
どうなのよ！

あはは
これがまた全然

そ
だと思った

じゃあ勝負は
引き分けってこと…

あたしは延長戦
突入でもいいけど？

なによ
それ

ふっふっふ

つまりー
あたしと遠坂
どちらが先に

衛宮をモノにするまかで勝負しないで。

これならシンプルに決着がつくでしょ

ちなっ

ちなっと待ちなさいよ！

危ない
お茶がこぼれるでしょ
部外者なんだから
迷惑なさい

ぐぐぐ…

なんで綾子まで士郎なのよ！

あたしもねー衛宮を悪くないなー、って

ホラ、最近アイツいい面構えになってきたでしょ

遠坂から
完全勝利を
得られる！

射も巧いしあたしに
見合うだけの男だと
思うわけよ

それに
なんといっても…

ど…
どうして完全勝利に
なるのよ…

だって勝利条件は
「遠坂が羨ましがる
ような男」でしょ

現時点でそんなの
衛宮ぐらいだし

…

勝手にすれば
いいじゃない

別にわたしは
羨ましいなんて…

綾子ッ！

けど悔しがるでしょ？

くっくっ

兄談よ冗談
アンタの想い人を取ったりしないわよ

まお勝負は分けでいいわよ

なんせあの遠坂の弱みを初めて握れたわけだし♪

カラカラカラ

だからちがうって…

さっ、予鈴も鳴ったし教室に戻ろうぜ

聞きなさいよ

――もう？

確かに…

これはわたしの弱みだ

あの出来事を
きっかけに

でも

自分の気持ちに
気付いた時
敵わないとわかった

可憐な薫立ち
鈴のような声

彼女と出会った時から
それはわかっていた

わたしは彼女に
敵わない

わたしは彼に
魅せられていった

彼女が…

私達の世界の時間から
消えてしまった

今でも…

RIN TOHSAKA

アルストロメリア

ALSTROMERIA

ドサッ
ーふう
なんでこのわたしが
とすっ
士郎ごときに

……

——自分の
気持ちに気付いたのは

青白い月光に
照らされた

瓦礫だらけの
廃墟の中

生き残るためだと理解していたのに

あっ…

やーシロウ

もっと…ゆっくり…

セイバーに嫉妬していた

はあ

ギシッ

士郎に抱かれているのが

はあ

はあっ

どうして

わたしではないんだろう

ぴくっ

あっ

わたしのなかの少さな棘…

あは セイバーったらだらしないのね

初めてのクセに後ろからの方が感じるんだ

ちがう…嘘です…

ガくっ

ガくっ

私…は悦んでなど…いません…っ!

むちゅ

ぷちゅ

そう?

なら わたしも手伝ってあげる

ぬちゅ

あんなことをしたのも

凛…なにを ひッ はッ

はっ

だ…だめ そんなものを…舐めない…で…

ひくひくく

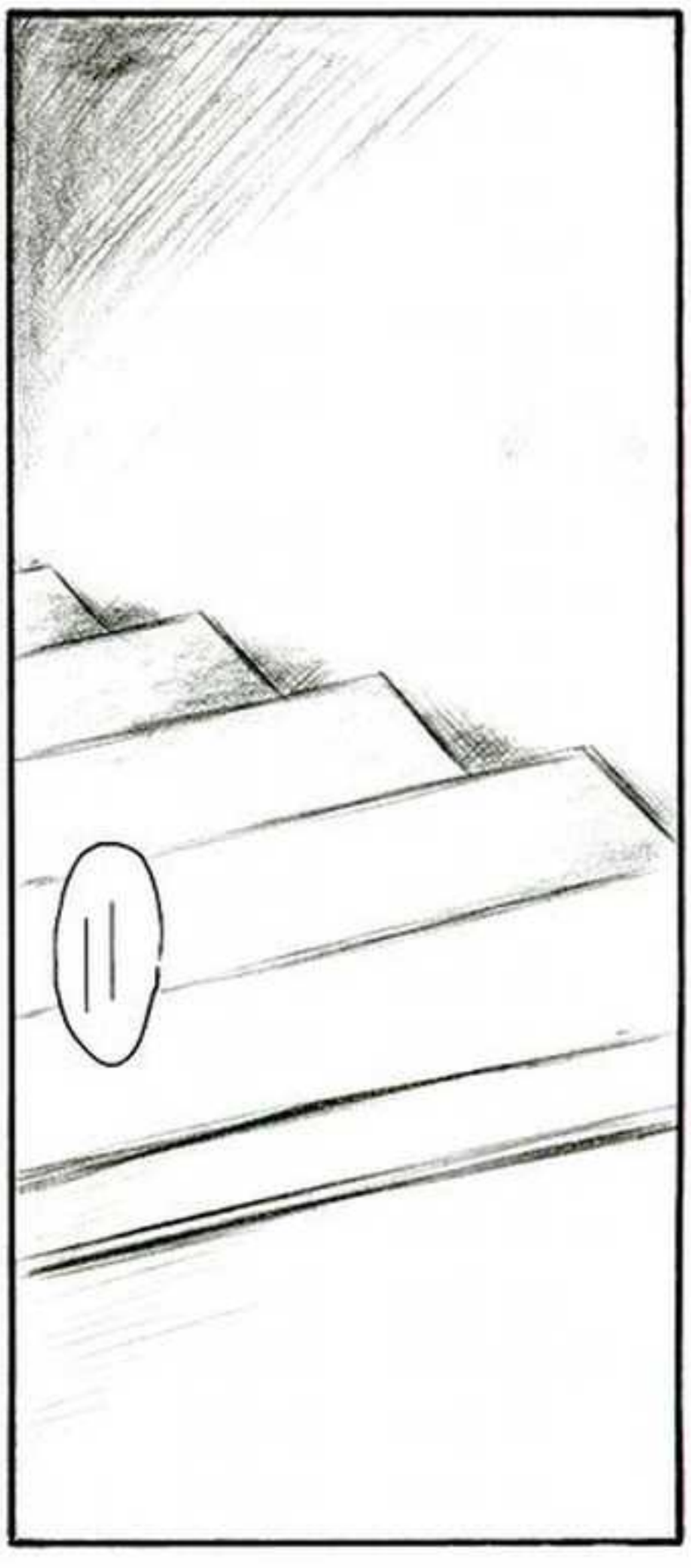
ぴくっ

ぴくっ

生き残るためでなく交わる2人への

せめてもの抵抗・・・
ひくん
にゅちっ
びくっ
ひくっ
はぁ
はぁ
はぁ
士郎の・・・バカ

これじゃ
ないんだけど…



まあいいわ
ついでだし
はい
……
これでついでの本
何冊目だよ
う…
うるさいわねー
肝心な本が
見つからないのよ!

これが 講義を
受けに来たのか

本の整理に
来たのか…

師匠のやることに
文句言わないの！
…って本当に
見付からないわね

まあ
いいさ

こっちきって
のんびりしてるのも
悪くないしな

学校では
ヒドイ目に
偶ってるから？

…
噂 知ってたのか？

うん
綾子から
聞いた

…
しばらくは別々に登校した方がいいかもな
なんでそうなるのよ
わたしはウワサごときで行動を制限されるなんてゴメンだわ
でも迷惑だろ？
…何よ今更
迷惑なんて最初からかけっぱなしじゃない！

俺がランサーに刺された時からか？

！

最初からって

はたん

な…なーんだ気付いてたんだ

ああ、あの時少しだけ魔力の残ったペンダントが落ちてた

流動と転換は遠坂のお家芸だろ

お家芸って…

蘇生に使ったぐらいだし大切な物だったんじゃ…

ま、まあ父さんの形見だけど気に思い出はアレだけって訳じゃ――

て、

それにあの時 士郎は
まだマスターになってなかった
ワケだし

一般人を巻き込んで
しまったために
非があるのよ

バーサーカーに使った
宝石みたいに

代金 丼って
くれるワケ？

う……

……覚えて……
いたのか……

それとも何？

当ったり前でしょ
楽しみにしてるん
だからー♪

……し

とにかく！
そのコトも噂のコトも迷惑だなんて思ってないわよ
…でも遠坂礼だけは言っとく
ありがとな
〜〜〜〜ったくそんなだから——
……あれ？
何だろう
この違和感
…ところで士郎
うん？
ペンダントその後どうしたの？

拾って…今は家にあるけど？

そ、こも追加ね

とりあえずそれもわたしの部屋に運んでおいて

うんっ、わかった

…そっか

アーチャーの正体は

衛宮士郎…

!!

愛する人に剣を振り翳すことができなかった…

士郎（アイツ）は最後まで…

英霊になっても…

し…士郎
これ…
グラッ
も？
ゴ
い…

フゥ〜〜〜
…遠坂 大丈夫か？
遠坂!?
…大丈夫

あ…
大丈夫なら
ドクン
ドクン
だんだん速く だんだん大きく
鼓動が伝わってくる
そろそろ立ち上がってくれないか
士郎の搏動はこんな簡単に変えられるのに
士郎

もうセイバーに
未練は無いのよね？

あ…
ああ

と

ムダだって
わかってるのに

何でわたしは
こんなに
往生際が悪いんだろ

なんなよ
平気よね

遠…坂!?

何よ

2回目じゃない

お…

おまえ

ヒトをからかうにしてもやりすぎ…

からかってなんかいないわ!

と…

……

―俺

遠坂には何度も

迷惑かけてきた

それなのに何度も

助けてくれて…

遠坂には本当に

感謝してる

けどセイバー

未練が無いなんて

ウソじゃない！

そうやって

アンタは一生

セイバーのことだけを

想い続けていくのよ！

今ここにいる人間のことも

少しは考えてよッ！

これで――

ばっかみたい

ゲームセット

凛

シロウを…
お願いします

……あんな奴の
お守りなんて
ゴメンだわ

!

起きて
いたのですか

2人がちゃんと
心配で…ね

行くの？

はい
凛には世話に
なりましたから…

別れを告げに

それと
最後にひとつだけ
お願いがあります

…さっきの？

はい
シロウは必ず
この家に戻します

すべてが終ったら
凛、あなたがシロウを
ささえてあげて下さい

なんで
わたしなの？

凛も土郎を愛してますから

…どうして言い切れるの？

自分の気持ちにもなかなか気付かなかった貴女が。

――

シロウの――

…貴女意外と根に持つタイプなのね

ええ

私も凛と同じ負けず嫌いらしい

くちびるを私よりも先に奪いました

ふふ

ゆかったゆ

でも約束は
できないゆよ

いいえ
凛は

期待を裏切らない
人ですから

さよなら
魔術師（メイガス）

凛が味方で
本当に――

…
タップリ寝てやろうと思ってたのに
もぞ
ん――…
もぞ
あの時の夢を見るなんて
ん…
プルルルル♪
プルルルル♪
…いつもより目覚めが悪い

プルルルル♪

…

目覚まし
だけじゃなく

プルルルル♪

のそ

電話線も
引っこ抜けば
よかった…

――はい

優等生が学校
サボってんじゃないわよ――

…綾子
朝ぼらからくだらない
電話してこないでよ

あんたね
もう午後よ

そうじゃなくて
で、用件は何？

今朝 めずらしく
衛宮一人で登校して
きたからさ――

…

遠坂は？って聞いたら
今日は一人だって言ったきり
なーんも答えないし

そしたらアンタはサボりでしょー
どしたの？ 衛宮とケンカ？
ちがうわよ
！
それじゃフラれた？
風邪よ風邪ッ！
熱もあるしだるいから休んだのっ
こうして電話してるのもつらいのッ！
だから切るわよッ！
ちょっとぉ遠ー
もうっ
ばっ
ガチャ
どいつもこいつもっ！

はぁ

昨日の今日で

なんであんな夢見るかなぁ…

凛 あなたが シロウを ささえてあげてください

そんなコト 言っといて

結局勝ち逃げじゃないの

ズルいゆよ セイバー…

ゴーン♪
え!?
結界(セキュリティ)に反応しないで玄関まで
…って
もうっ!
顔をあわせたくないから学校まで休んだのに…
カッ
カッ
カッ
今日一日でキッチリ心の整理をしようと思ってたのに——
すーっ
ガチャ
うちに何か用かしら?

衛宮くん

あ…いや
ちょっと…
心配だったから

そんなの
無用よ

でもな…
アンタに同情なんて
されたくないっ！

余計惨めに
なるわ…

遠坂……
本当に大丈夫か？

そんな顔
しないでよ

わたしが
どんな思いで…

そうやって…

誰にでも
優しくするから
誤解を招くのよ

遠坂

俺は風邪の話を
してるんだけど…

綾子ーーー
なんでそのまま
伝えるのよーー

熱のせいで変なコト
口走ってるのかと思ったけど

仮病だったのか？

あたりまえでしょ!!

本当に心配
してたんだぞ

そうか…
良かった

へ？

熱があって体もだるくて
電話もつらそうだって
美綴が言ってたから…

な…
なっ

それで見舞いに
来たんだけど

えっ…
どきっ
昨日あれだけ怒ってたから、俺に呪いでもかけようとして
ミスって遠坂自身が病気になったのかと…
があーーッ
そんなコトしないわよっ!!
もーーーっっ
綾子のおかげで恥の上塗りよっ!
…やっといつもの調子に戻ったな
どうせわたしはいっつも肝心なところでミスるわよっ
ホラっ用が済んだのならさっさと帰りなさいよ
見舞いに来ただけじゃない
遠坂に会えなきゃならないことがある

遠坂が好きだ

俺は――

なっ… なに
言ってんのよ

アンタ昨日
セイバーが…

セイバーが好きだって
気持ちは変わっていない

これから先も…
その事だけはずっと
変わらないと思う

でも俺たちは
遠い昔には
戻れない

遥かな未来しか
ないんだから

セイバーが自分の時間を
きちんと終らせたように

俺も…
自分の時間を歩んで
行きたいと思ってる

同じ時間を過ごして
きた…遠坂と

…ホント

バカ正直
なんだから

普通はウソでも
お前だけだ って
言うものよ

そう…

士郎は
最初っから

こういう奴
だった…

そんなことを言われ
なくてもわかってる
昨日のことが無ければ
このまま言わずに
いいわよ

本当に…
いいのか？

ま… まあとにかく
入りなさいよ
いつまでも玄関で
立ち話もなんでしょ

あ… そうだな

ガチャ

…？
ところで
それ何なの？

ゆたしは… セイバーが
好きな士郎を好きに
なったんだから

ん？…ああ
ガサッ
遠坂に何か元気の出るものを作ってやろうと思って
——そして士郎の
こういうところが…
!?
遠坂何をっ！
…3回目
ちょ…ちょっとまてッ
昨日だって自分を抑えるのに必死だったんだぞっ
もう少しで…
もう少しで？
……
ん？なあに？
くす
どうなっても知らな…
んっ
…!?
やっ…やめっ
玄関先よ!?何考えてんのよっ！
ドア止めてよー

もうっ！

信じらんない
あんな所で襲いかかる
なんて…

…遠坂が挑発
するからだ

ゆ…わたしは
アンタと違って 初めて
なんだからっ…

えっ!?

…何よ
わ…悪い？

い…
すまないって思うなら
ちゃんと仕切り直してよ

わ…わかった
トクン
ミキシッ
んっ…
あ…
ぴくッ
んっ
ぺふッ
士郎の舌が…
ちゅ
ちゅ

…やだ

キスしてるだけ……なのに…

あ…

なんでやめちゃうの？

ふ…ふーん

経験済みだと上手なのね

…何も今イヤミを言わなくても

ひゃっ!?

いいだろ

するっ

アタマがのぼせてくる

びく

触れられてるだけでこんなに…

きゃっ
遠坂…イヤなのか？
…なんでそんなこと聞くの？
辛そうな顔してるから
声が出そうだから
辛いわけじゃ…ないから
…ブブけるぞ
ガマンしてるなんて言えー
あッ
ちゅ
ちゅる
ちゅる
ひっ…
あー〜〜…

もうこんな…なのに指で…されたら
遠坂の…
ぬ…だ…
ぬッ
自分しか触れたことのないとこへ…
し…士郎っ
まっ…て
ぢゅぷ
ぢゅぷ
湿ってる
やっ
ぢゅぷ
ちっ…ちがっ…
はぁッ
ぢゅぷ
汗だも…
ひッ…はあッ
だッ…だ…め
あっ
自分以外の指…が
士郎
こんなに…気持ー
がくがく

は…あッ…
あ!?
じゅ
ふにゅ
このままじゃ
士郎の指だけで…
士…郎
ま、待って…
服…脱がなきゃ
あ、うん
たすかった…
愛撫(ゆび)だけでのぼりつめて
士郎に猥らな
女だと思われたくない
……
…何してんのよ
士郎も脱ぎなさいよ

手伝ってやるよ
は!?
ちょ ちょっと何…
ぼすん
自分でき…
ばかばかっいいかげんにっ…
ばたっ
ぐっ
ばたっ
くいっ

やっぱり…ぬるぬるしたのがたくさん
ばかあ
くぱぁ
見ない…でお願…
見られている…ゆたしのイヤらしいところ
ぴく
ぴく
くち…なんか…で
ちゅるっ
ちゅぷ
ちゅぷ
ひくん
ひっひく
ひゃッ…うぅ
だめっ…
ちゅく ちゅく
ちゅく
ちゅく
ちゅく
お…ねが…はぁ
がくがく
士郎に口でされている恥辱と…
びくっ
くっ…あッ♡

バカぁーっ
ガスッ
ゆたし…
こんな時ぐらい

女のコらしくしようって思ってたのに
あんな…恥ずかしい思いさせて

ご…ごめん
いつもイジめられてるから…つい
だからって調子に乗りすぎ
あんたにも恥ずかしい思いさせてやるんだからっ!
さっさと脱ぎなさいよっ!
…わかった

な…なによ
さ郎だって…
ぴくっ
こ…こんなに大きくして
…先から変なの
出てるじゃないのっ
ぴくん
さわっちゃった
びくんびくん
って……
あっ
あたり前だっ
好きな人のハダカが
目の前にあるんだぞ
それにそんな
触られ方したら…
…出ちゃう？
……うん

さ郎も触られる
だけで気持ちいいんだ…
ぴくん
ぴくん
ここと かは…
気持ちいいの？
うっ
ふにっ
ふにゅっ
口とかでも
気持ち良くな…
と…遠坂
女のコらしくって話は
どこ行ったんだ？
あ…

あんたが変なモノ
つき出してッ
口でしろなんて
言うからでしょっ！
言ってないぞっ！
もうっ！
ムードもなにもかも
台無しよっ！
遠坂も悪いぞ…
すまない…
でもな
普段の遠坂
だって…
十分
可愛らしいぞ
ば…ばかっ！
そんな歯の浮くような
コト言ったって
今日のことは絶対
許してあげないんだからっ！
何してんのよ
女の口にここまでしといて
放っておくつもりで？
遠坂？

…って士郎のおっきいままじゃな――
んっ!?
んっ
んっ
ぴくっ
はぁ
遠坂だって人のコト一言えないぞ
やっ
ちゅぷ
ぬるっ
わたしは…
いつでも…い
…いから
ぴくっ
にゅく
士郎の…
好きなように…して
あッ♡
ぴくっ
パタッ
あ…
あ…
あの…士郎
そのぉ…
ん?ああ
できるかぎり
優しくする

そ…そうじゃなくて…
…なかに出したい？
そ…それはそうだけど
遠坂に迷惑のかかることはしたくない
ごめんね…
遠坂が謝ることじゃないだろ
…いいか？
うん
んっ
は…
あッ
んッ！
ーいっ！
遠坂？
だ…いじょうぶだから…
んッ
ブサ…て

痛い――けど…

もうすこし力をぬいて

んっ

ぶるっ

びくっ

ぶる…

ぐぐ

んん…

わたしのなかが士郎で満たされて…

―

全部入った

あっ…

士郎とひとつに

なれたんだ

ちょっと…痛いけど

好きなようにしていいんだから…ね

辛くないか？

士…郎？

わたしは 士郎に…
気持ち良くなって
欲しいから

あー…
…ありがたいんだけど

すでに気持ち
良すぎて

もう…
すぐにでも

…動かしてないのに
わたしの…気持ち
いいの？

うん…ずっと
こうしていたい
ぐらい

なんだか…
不思議な感覚

じゃあ…
このままぎゅーって
抱き締めて

こうか？

…うん

痛みはある
――のに

何かで痛みが
マスキングされていく

…士郎
魔術使った？

？

俺が何もできないって
知ってるだろ？

びく

びくぅ

ぴくぴく

あっ

……
少しも動けないの？
少しだけならでも遠坂が…
…わたしもちょっと気持ちいい…みたい
びくん
はっ
くいっ
ひとつになった部分がちいさく律動する
ぐっ
ぐっ
はぁ
あッ♡
士郎のがびくんびくんって…
んッ
わたしをいたわるように
はぁ
ぎしっ
遠坂だってきゅうきゅう締め付けてるぞ
はぁ
そ…そんな……こと
ぎしっ
してな…
あッ
んっ
んッ
もどかしくなるぐらいゆっくりと…
ぎしっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

敏感な襞先が
撫で回される…
いっ…
いいよっ♡
ひくっ
士郎のカタチが
伝わってくる
あ゛♡
ひく
ひくん
苦しそうに
蠢きながら
わたしを
導いてくれる
はッ
あっ
だ…だめだって
遠坂まで
動いた…ら
わっ…たし
んんッ
ゆさっ
ゆさっ
動いて…
なんか…
きゅうっ
士郎を…もっと…
感じたい…だ…け
んッ♡
はッ
あ゛
あ゛ッ
びくん
ひあーっ
あっ゛んんッ

自慰(じぶん)の時とは
違う・・・
ぶるるっ
遠坂ッ
俺ほんとうに・・・
もうッ
お願・・・いッ
最後まで・・・
はっ・・・
ひくっ
どうなっても・・・
いい・・・からッ
はぁッ
ひくっ
ひくっ
ひくっ
何かがのぼりつめて
ーー
あッ
あ・・・
ひッ・・・
あ・・・
あッッ

あッ…
びくん
びくッ
イッ…ちゃあッ
…ああッ
はッ
あッ♡
どぷっ
ほぁ

やだ…
まだ出てくる…
何が迷惑のかかることはしたくない
よっ!
なっ
何言ってんだよ

どーなっても
いいから…って

放してくれなかったの
遠坂だろ

〜〜〜〜〜

いいわよ！

その時はその時で
わたしが責任ぐらい
取るわよ！

……遠坂
普通それは
男のセリフだ

……

まったく…
先に言われるとは
思わなかった

えっ!?

だから…
つまり――

その時でも
その時でなくても
俺が……

責任 取るからな

…
そ…それなら
わたしに見合うだけの
魔術使いに
なりなさいよっ！
ああ
大丈夫
オレには最高の
師匠がいるからな
さてと
当初の目的どおり
メシを作ってくるか
遠坂はゆっくり
してていいぞ
女のコには色々と
あるんだよな？
もうっ！

こと

それと…遠坂が

気にしてたみたいだから

ごそ

これ

返しておく

！

やっぱり それ

思い出深いモノ

だったのか？

ん

それとは別のこと

考えてた

？

…

よーし、それじゃ台所貸りるからな！

――わたしは完勝することができなかった

けど…貴女の期待に応えることにするわ

期待してるわよ

料理のウデだけは上達してるからな

お互い負けなかった…だから

引き分けでいいわよね？

セイバー…

RIN TOHSAKA

アルストロメリア

ALSTROMERIA

発行　夜間飛行 / 発行者　いのうえとみい / 発行日　2001年8月13日 / 注意　18歳未満閲覧禁止

掛けられた密かな魔法は　あなたが居なくなっても続いてます
あの電信柱に　遠く何処までも続く家並みに
何にも変わらないけど　そう誰も気づかないけど

いつもと同じさと思ってたら少し痛い目に合いました
僕はあの時の少年じゃない
少年は消えて影になった

空は青いのにこんなに青すぎるのに
駆け出した影法師が石に躓く２秒まえ

あなたに伝えたいことが　本当はいっぱいあるけど
はずし忘れたクリスマスツリーさ夏の夜空にそれでも光ってるのさ

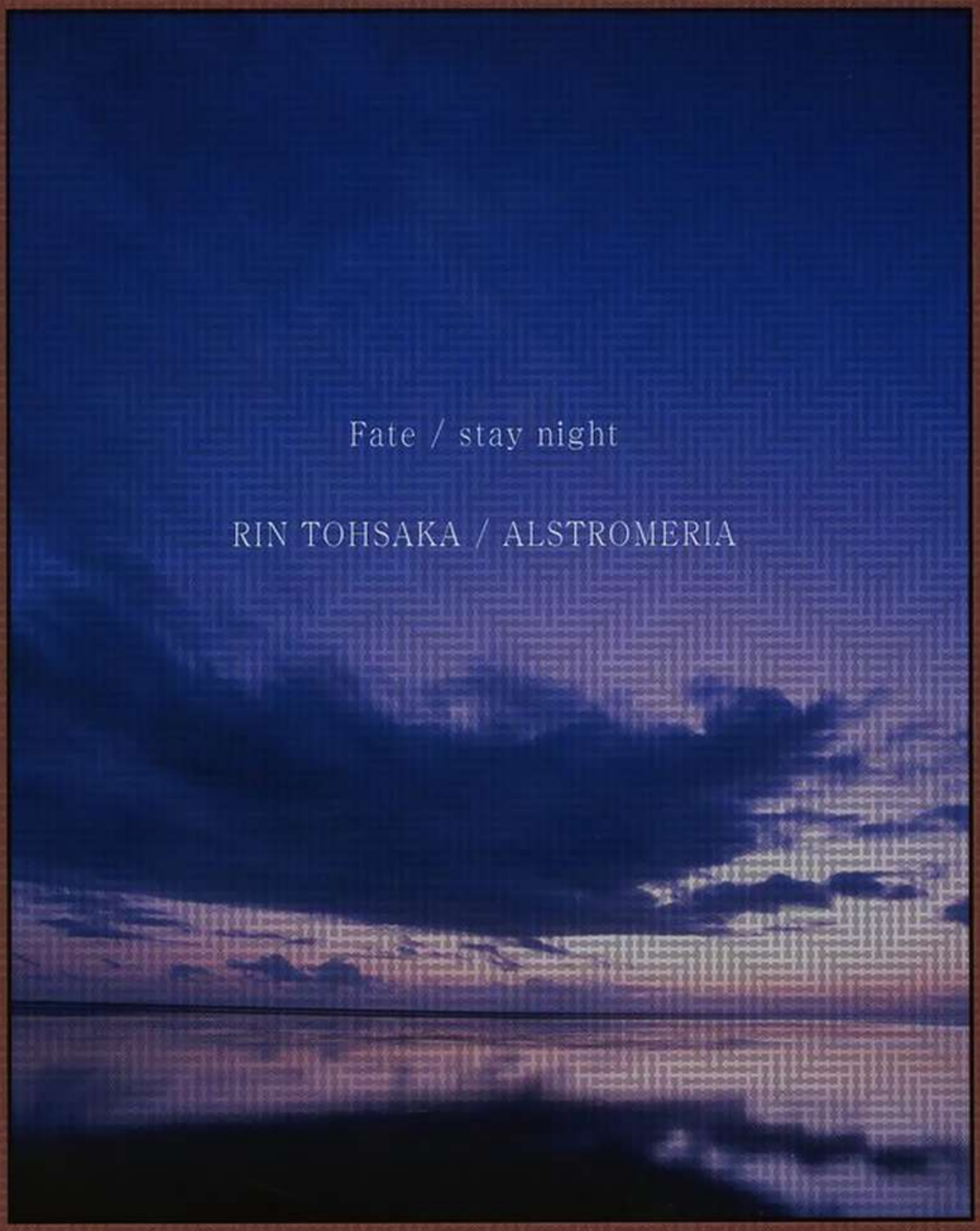
ポケットの中を探してたら小さな入り口を見つけました
こぼれ落ちた行き先は何かが止まった知らないところ

ねえねえ　きれいな花を帰りの道で見つけたよ
僕が摘み取ったのは花が開いた２秒前
ねえねえ　笑ってよ　いつだってきっとそうだよ
空っぽのポケットは手を入れるためにあるんじゃないよ

もう二度と会えない人に
何処にもいない人に

もう逢えない人に / 上田現　　作詞　上田現

Attention/For Adult Only



YAKAN HIKOU PRESENTS